

大宮

THE ŌMIYA HACHIMAN

令和2年(2020)

皇紀2680年

令和2年わかば祭り(春の大祭)号【第117号】

<http://www.ohmiya-hachimangu.or.jp/>

主な目次

コロナ禍終熄をわかば祭りに祈る	2頁
わかば祭り(春の大祭)のご案内	3頁
杜の話題	5頁
大宮八幡の杜 春から夏へ	8頁
第7回フォトコンテスト作品募集中	9頁
初宮詣芳名・どんぐり通信	10頁
わかば祭り社頭風景	12頁



わかば祭り当日祭 浦安の舞

わかば祭り(春の大祭)

御神苑の木々の緑が鮮やかな彩りとなる季節となりました。当宮では、5月3日より5日までわかば祭り(春の大祭)を、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のもと厳粛に斎行致します。まず、4月29日には昭和天皇のご懿徳をお讃え申し上げ、昭和祭を斎行。春の大祭期間中は、5日の当日祭(尚武祭)を中心に、3日は、**第一日ノ儀**、4日、**第二日ノ儀**と午後には大宮八幡宮植樹祭が行われ、観葉植物が授与されます。そして5日午前10時より春の大祭**当日祭(尚武祭)**併せ**感染症拡大最終祈願祭**が斎行され、皇室国家の安泰・五穀豊穣を祈念し併せて新型コロナウイルスの早期退散を祈願致します。なお、3日の第一日ノ儀の祭典では、**古武道武技奉納**有志の会の代表、武田流傳黒坂派波心会会長黒坂信昭師範による演武が奉納されます。大祭中の神賑奉行事についても下記の通り中止となります。亦、期間中の大宮八幡植木市・盆栽展示即売会・露店の出店はありませぬ。



コロナ禍終熄をわかば祭りに祈る

宮司 鎌田紀彦

昨年12月初めに、中国の武漢で発生したといわれている新型コロナウイルス感染症は、今や地球規模で拡大し続け、欧米等世界の感染者150万人超(4月9日現在)と発表されています。

そうして諸外国では目に見えぬ敵との「戦争」であると危機脱出に懸命に取り組んでいる姿が報道されております。

又、今年はおリンピックイヤーであり、予定されていた東京オリンピック・パラリンピックも来年の夏に史上初めて延期されています。

さて、我が国では東京都に於いても3月末頃より感染者が増え始め、4月9日には181名が感染し合計1,519名となりました。全国でも576名が罹患し合計5,529名となり、クルーズ船、チャーター機の帰国者を入れると6,255名(死者も119名)となっております。

この様な状況の中、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策として、3日前の4月7日の夜、首相より「緊急事態宣言」が東京都他6府県を対象に、5月6日迄の期間とし発令され、不要不急の外出自粛要請がありました。又、東京都知事は、「感染爆発の重大局面」であり「医療崩壊」に通ずるとの強い危機感を示されておりました。



この様な状況を鑑みて役員会に諮り氏子・崇敬者の皆様方の健康と安全を考慮し、本年の昭和祭と

和祭(中祭式)及びわかば祭り(春の大祭)5月3日(5日)の当日祭(尚武祭)に大祭人数を制限してご参列を頂き、厳粛に肅々と斎行させて頂くことに致しました。

何卒、今般の諸事情をご賢察頂き、ご理解下さいますようお願い致し、一日も早い終熄と皆様方のご多幸とご健勝を衷心よりお祈り申し上げます。

従ってわかば祭り期間中のハイライト・稚児行列を始め、多くの神賑奉納行事が中止となっております。

又、付属大宮幼稚園におきましても新年度、年長年中組の始業式並びに入園式も一ヶ月後の連休明けに延期して、5月7日(木)始業奉告祭、5月10日(日)第71回入園奉告祭に併せて各々の式を簡素化してご神前で執り行う予定となっております。

天皇陛下には、昨年5月1日、第126代の新天皇として踐祚され、令和と改元され、早一年が過ぎようとしています。

秋には「即位礼正殿の儀」が執り行われ、天皇皇后両陛下が天津日嗣の高御座・御帳台へ昇られ、御即位を内外に宣明される頃生憎の雨も上がり虹がさしている瑞祥は、将に我が国は神国であると思わせて戴きました。

又、天皇ご一代に一度限りの重要な新嘗祭を大嘗祭といひます。「大嘗宮ノ儀」は夕刻の悠紀殿と夜半の主基殿で二度にわたり天皇自ら新穀を神々へお供えし、神々とともに召し上げられるお祭りなのです。そうして「国安かれ、民安かれ」と祈りを捧げられる祭祀に臨まれるお姿は、報道により多くの国民の目に触れ、祭祀こそが天皇様

の本来のお務めであることが広く知らされました。

今年、令和2年は日本書紀撰上1300年の記念の年、「三大神勅」も書紀の一書に伝えられています。所謂神話に基づく永い伝統に裏付けられた第126代に及ぶ万世一系の天皇を戴いてきた私どもは、御即位以来、常に「国民に寄り添われる」大御心を、私ども国民もお慕い致しているのです。所謂天皇と国民が真心を通わせる世界に類いない君民一体の立憲君主国の我が日本の国柄に、外国の人達が羨望の眼差しを向けて頂いている皇室は私共の誇りでもあります。

2月23日は天皇陛下の御生誕の日で、初めての**天長祭**は還暦のお祝いでもありました。

いよいよ4月19日は「立皇嗣の礼」が行われます。「立皇嗣の礼」は天皇陛下が秋篠宮文仁親王殿下を皇位継承順位第一位の皇嗣となられたことを内外に宣明される儀式で皇居宮殿正殿(松の間)での「立皇嗣宣明の儀」があります。そのあと、初めて天皇陛下が皇嗣殿下に会われる「朝見の儀」が執り行われます。皇嗣殿下は皇太子としての務めを果たされ、天皇陛下をお支えになるのです。

尚「宮中饗宴の儀」は新型コロナウイルス感染症拡大対応の為取り止めになっていましたが、4月10日には「立皇嗣の礼」をも延期する方向で調整に入ったと官房長官の記者会見で明らかにされました。従って当宮も19日(日)午前9時よりの「立皇嗣の礼当日祭」(臨時中祭式)をご奉仕する予定でありましたが延期と致しました。

今年には桜の花が早く咲き始め、3月20日の春分の日頃より境内の桜が見頃となりました。4月8日頃には神門前の御大典記念樹「八重紅枝垂桜」が麗しく咲き誇り、

折からの望月に照らされた夜のライトアップも格別で、コロナ禍を忘れさせるひと時でありました。

やがてひと雨ごとに、大自然の息吹の感じ取れる草木が芽吹き始め、風薫る若葉、青葉の好季節が巡ってまいります。

5月5日の**わかば祭り当日祭(尚武祭)**は、皇室を中心とする我が国の隆昌と世界の平和を祈念いたします。今年の五穀の豊穣を中心にあらゆる産業の発展と、ご家業のご繁栄、氏子・崇敬者等のご家族の平安をご祈念させて頂きます。併せて3月11日より恒例祭及び毎朝の朝御饗祭に宮司以下神職・巫女等が参列して新型コロナウイルス感染症の一日も早い終熄を祈願致しておりますが、大祭当日祭(尚武祭)に併せ**感染症拡大最終祈願祭**を斎行し祈願させて頂き度く思っております。

古来より春のお祭りは、秋のお祭り・新嘗祭と一対の祈年祭(きねんさい)でもあります。

年は稲霊(いねたま)―奥津御年―を表し、五穀の豊穣を神々に祈り(祈年祭、秋にはその収穫の品で神々におもてなしをして感謝をするお祭りが新嘗祭で、その時のお供え物を神々よりの賜り物(食べ物の語源)として頂いてきました。

神々と同じ物を頂くことに依って神々より更なる生命力(恩頼)を頂いてきたのです。併せて大宮八幡祭り(秋の大祭)や新嘗祭が盛大に斎行されますようご祈願をいたします。

(令和2年4月10日記)

昭和祭斎行

4月29日(昭和の日) 午前10時より昭和天皇のご聖徳をお讃え申し上げ、**昭和祭**が中祭式にて厳粛に斎行されます。昭和祭は昭和の日制定に伴い、平成19年から奉仕され、今回で14度目を迎えます。



献木のお祝い

5月4日(みどりの日) 午後2時より大宮八幡宮植樹祭(献木式)が当宮みどりの会主催で斎行されます。各家庭にも緑を拡げることが目標としており、**献木**のご協賛をお申し込みの方には観葉植物を授与いたします。



献木初穂料一口 二〇〇〇円
※年間を通じて承っております。

わかば祭り 祭典と奉納神賑行事

昭和祭	4月29日	中止
躰躰育木祭並びに皐月朔日祭	5月1日	中止
わかば祭り 第一日ノ儀	5月3日	中止
第42回稚児行列巡行(中止)	5月3日	中止
わかば祭り 第二日ノ儀	5月4日	中止
大宮八幡宮植樹祭(献木式)	5月4日	中止
(主催みどりの会)		
わかば祭り 当日祭(尚武祭)	5月5日	中止
併せ感染症拡大最終祈願祭	5月5日	中止
わかば祭り 終了奉告祭(直会乃儀)	5月5日	中止
神賑行事		
春の弓道奉納射会		中止
古武道武技奉納		中止
(但し一名で第一日ノ儀中に奉納あり)		
佼成学園吹奏楽部奉納演奏		中止
第21回若葉inおみや		中止
第21回拳武者の集い		中止
杉並太鼓奉納演奏		中止
野点茶会		中止
(裏千家淡交会東京第6東支部)		
方南エイサー踊り奉納		中止
雅太鼓奉納演奏		中止
奉納献燈提灯	4月29日	中止
園児画展	5月17日	中止
みどりの会即売		中止
スカウトバザー		中止
大宮八幡植木市		中止
盆栽展示会・即売会		中止
露店		中止
第21回茶道裏千家献茶式		中止

杜の話題

新春の表情



名譽区民、能楽師、野村四郎師により奉納され、続けて宮司奉仕による**新春厄除開運初大祈願祭**（一番祈禱）が斎行されました。

元旦の午前零時、宮司の打ち鳴らす一番太鼓が境内に響き渡り、令和2年の幕明けとなりました。神門が開かれると思っても新たにした参拝者で境内があふれました。まず**神能「翁」**が人間国宝の杉並区

元旦の午前零時、宮司の打ち鳴らす一番太鼓が境内に響き渡り、令和2年の幕明けとなりました。神門が開かれると思っても新たにした参拝者で境内があふれました。まず**神能「翁」**が人間国宝の杉並区

元旦の午前零時、宮司の打ち鳴らす一番太鼓が境内に響き渡り、令和2年の幕明けとなりました。神門が開かれると思っても新たにした参拝者で境内があふれました。まず**神能「翁」**が人間国宝の杉並区



立正佼成会庭野日鏡会長 正式参拝

元旦午前10時、立正佼成会庭野日鏡会長は、國富敬二理事長、佐藤益弘常務理事、千葉和男杉並教会長、川本貢市時務部部长、庭野統弘主席、庭野皓司平和財団理事長等を同道して参拝。その後御一行は、清涼殿（亀の間）で宮司ほか責任役員、総代等と年酒で乾杯し、丹波黒豆等の御節料理で新年を寿ぎ、親しく歓談されました。

古札焼納祭（とんど焼き）斎行

小正月の恒例の行事である**とんど焼き**（古神矢・古神札等焼納祭）が、1月15日、生憎の雨の中、斎行されました。ご社殿にて**睦月月次祭並古神矢・古神札焼納祭**のあと境内の斎場で古神矢・古神札焼納祭を斎行、祝詞奏上後、**火鑽神事**により淨火が熾され宮司以下祭員・参列員らが大祓詞を奏上する中、古神矢・古神札が焚き上げられ、感謝と除災を祈りました。

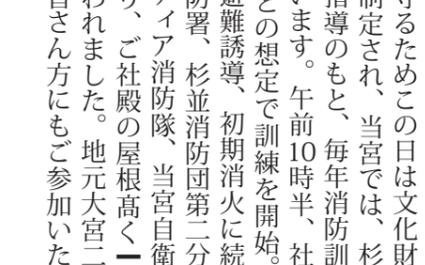


初天神祭

1月25日、大宮天満宮の**初天神**が斎行されました。7名の社頭祈願者をはじめ約80名が参列、年初の天神祭は丁度受験のシーズンでもあり、受験生をもつ親御さんたちが参列されました。

文化財防火デー消防訓練

昭和24年1月26日、奈良・法隆寺の金堂より出火した火災は、国宝の金堂壁画を焼失してしまいました。貴重な文化財を守るためこの日は文化財防火デーに制定され、当宮では、杉並消防署の指導のもと、毎年消防訓練を行っています。午前10時半、社殿より出火との想定で訓練を開始。通報連絡、避難誘導、初期消火に続いて杉並消防署、杉並消防団第二分団、ボランティア消防隊、当宮自衛消防隊により、ご社殿の屋根高く**一斉放水**が行われました。地元大宮二丁目町会の皆さん方にもご参加いただきました。



節分祭 一年の邪気を祓う

季節の変わり目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分といいますが、4回あるうちの特に立春前日の節分には、1年の邪気を祓う重要な神事が行われてきました。当宮では、午前10時より**節分祭**を斎行。祝詞奏上のもと桃の弓・葦の矢で「天地・人」の魔を射る**卯杵神事**を奉仕、次いで外拝殿大前にて**鳴弦の儀**が宮司奉仕により行われ弓弦の鳴る音によつて魔障を祓いました。次いで**豆撒き神事**。豆撒きは、まず、当宮幼稚園の園児たちが鬼に扮して行われ、次いで一般を対象にして計二回にわたつておこなわれました。



新型コロナウイルス 感染拡大防止対策について

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、下記の対応を当面の間、実施致します。ご参拝の皆様にはご不便をお掛けしますが、何卒ご理解のほど宜しくお願い申し上げます。

《ご祈願について》
○現在も下記対策の上9:30～16:30の間で受け付けております。
・扉、窓を常時開けての換気
・外拝殿にて間隔を広くとつての着席
・直会の中（撤下品に御神酒が入っておりますのでご自宅にてお願い致します）

《境内施設について》
○授与所（御札・御守など）は、間接的にお渡しするなど対策をしております。

・ご朱印は紙（書置き）朱印のみの授与といたします。
○総合結婚式場 清涼殿1階ロビー、喫茶・ラウンジは営業中止と致します。但し、美容サロン・衣裳サロン・写真スタジオは営業しております。（清涼殿 地下）

《その他》
・手水舎では、特設の流水手水にてお清めください。
・末社の鈴緒は一時的に取り外しております。
・神社職員はマスクを着用し、こまめに消毒液にて消毒を行い対応させていただきます。
※これらの対応は、今後変更することもございますのでご了承ください。
ご不明な点は社務所までお問い合わせ下さい。
大宮八幡宮 社務所 03-3311-0105（代）

応神天皇一七二〇年 応神天皇山陵遙拝

本年はご祭神**応神天皇**様のご生誕なされて1820年、神上がりましてより1710年を迎えまして、平成22年の4月1日には、**応神天皇**七百年式年大祭を厳粛に斎行致しました。本年は先ず、**応神天皇山陵**（東我藻伏崗陵）を遙拝しその後卯月朔旦祭の斎行となりました。



献燈提灯奉納のご案内

わかば祭りの期間中、皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出させて頂き、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただきます。つきましては、左記によりご献燈を賜りたくお願い申し上げます。

掲出期間 4月29日から5月17日まで
初穂料 一燈一〇、〇〇〇円

※詳しくは社務所にお問い合わせ下さい。

春の大祭後の主な行事（予定）

御嶽榛名神社例祭	5月16日
第41回大宮さつき展	5月下旬～6月上旬
神功皇后祭	6月3日
大祓詞書写会	6月20日～28日
夏越の大祓・茅の輪くぐり	6月30日
第22回乞巧奠	7月1日～15日
大宮八幡乞巧潜り	7月1日～15日
七夕の神遊び（投芸上達祈願祭）	7月7日
雅楽の夕べ（雅楽と神楽舞）	7月4日・11日
第20回納涼大宮天神こども祭り書画行燈掲出	7月24日・25日
第20回杜のひびきinおみや（和太鼓演奏）	7月24日・25日
多摩清水社例祭（水神祭）	8月1日
第37回戦没者慰霊祭	8月15日
第20回十五夜の神遊び・月の音舞台	10月3日

新春社頭往来

1月1日 人間国宝・杉並区名譽区民観世流能楽師 野村四郎氏 庭野日鏡氏 他幹部の方々6名

1月2日 弓馬術礼法小笠原教場 三十一世家系 小笠原清忠氏

1月4日 明治神宮権宮司 網谷道弘氏 明治神宮崇敬会理事長

1月6日 衆議院議員 石原伸晃氏 令夫人 里紗様

1月10日 大國魂神社宮司 猿渡昌盛氏 日枝神社宮司 宮西修治氏

1月18日 フラワーアーティスト KAORUKO様 江戸消防記念会第九区八番組 組頭 内山徳松氏 小頭 末柄孝二氏

2月21日 高井戸警察署署長 景山泰行氏

毎月・お朔日参りを致しましょう
毎月1日 朔旦祭
毎月15日 月次祭
毎月25日 大宮天神月次祭
ご自由にご参列下さい

第7回フォトコンテスト作品募集中 ～締め切りせまる～

大宮八幡宮は都心にありながら広大な境内を有し、周囲を豊かな自然に囲まれています。四季折々に様々な花が咲き誇り木々が生い茂り、参拝者の目を楽ませてくれます。

そんな当宮の自然や祭典行事風景を、プロ・アマ問わず写真愛好家の方々の目で写し撮って、その作品を八幡大神様にご奉納頂き、今秋の大宮八幡祭り（秋の大祭）期間中に展示し、ご参拝の皆様楽しんで頂きたく、第7回フォトコンテストを開催致しますので、皆様奮ってご参加頂きますようお願い申し上げます。

プロ・アマ・年齢不問

小・中・高校の学生さんも歓迎!

応募作品についての詳細は、社頭やホームページ上にてご確認ください。

協力写真店

ホットカメラ本店（浜田山）
フォトグラフ三光堂（大宮八幡宮入口）
カメラハウス本店（久我山）

締め切り日
令和2年7月31日

募集サイズ：
2L・4ツ切サイズ
大宮八幡宮に関係した作品であれば、風景・人物・行事等テーマは自由です。（1人5点まで）



審査風景

※入賞作品の著作権は応募者本人に帰属しますが、使用权は主催者に帰属するものとし、展示や当宮の出版物・広報・インターネット等に無償で使用させていただきます。（※各媒体掲載時には、氏名のみを掲載させていただきます。）

過去6回の最優秀賞（宮司賞）入賞の作品

第1回



『当たれ!』大野 貴義氏

第2回



『祭りだワッショイ!』大野 貴義氏

第3回



『後押し』杉園 幸司氏

第4回



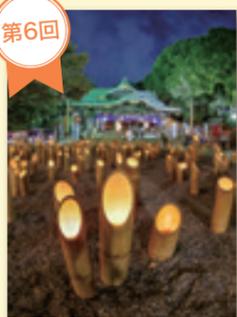
『十五夜の神遊びで神様もお喜び!』
奥村 泰子氏

第5回



『後光さす八幡宮』
早川 幸子氏

第6回



『竹取りの物語り』
久保田彬洋氏

8月15日、第37回戦没者慰霊祭が斎行されます。当宮及び兼務社の氏子地域より出征された戦没者のご英霊たちに感謝と追悼の誠を捧げ、世界平和を祈念致します。



第37回戦没者慰霊祭

8月1日は葉月朔旦祭に引き続き御神水の湧き出る多摩清水社の例祭が斎行されます。水の大切な盛夏のこの時期に、水神様の御神徳を称え水の恵みに感謝の誠を捧げるお祭りです。神門を出た入り口には、阿波野青畝の「広き野に靈の清水のあるところ」と詠まれた句碑があります。



多摩清水社例祭

6月中旬より7月下旬まで、(社)国旗のある自由画コンクール入選作品展が、神門内北側翼廊ブルードに展示されます。4歳児から小学6年生までの子どもらしくのびのびと画題に見合った金賞・銀賞の入選作品で展示されます。

国旗のある自由画コンクール入選作品展

大宮八幡の杜 春から夏へ

神功皇后祭

ご祭神の神功皇后様は、息長帯比売命と申し上げ、三韓の平定に向かわれる際には、応神天皇様を身籠もっておられ、凱旋の折、筑紫国にて応神天皇様をご出産になりました。御子応神天皇（八幡大菩薩）との親子のつながりは、母子信仰、聖母大神（聖母大菩薩）として根強い崇敬を受けられています。昨年は神功皇后様が神上がりましてより一七五〇年に当たり、6月3日に神功皇后老千七百五十年式年大祭を厳粛に斎行致しました。子授け・安産・子育ての神、聖母大神様のご神徳を景仰し更なるご神威の発揚を願い、本年より神功皇后祭を同日に斎行いたします。



水無月 夏越の大祓

6月30日は、午後4時より夏越の大祓が斎行されます。大祓は6月と12月の晦日に行われ、平安時代の儀式書である『延喜式』にも記されており、知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを祓い清める神事です。神門前の特設齋場にて、先ず宮司以下祭員、参列員一同で大祓詞を奉唱し、各自切麻で自己祓いのあと、人形で全身を撫で息を三度吹きかけます。心身の罪穢れを形代に移して、茅の輪を左右左右と三回くぐって祓い清めを行います。 「水無月の夏越しの祓する人は千歳の命延ぶというなり」



平安の雅び第22回乞巧奠と平成の七夕大宮八幡乞巧潜り

7月1日から15日まで、第22回平安の七夕乞巧奠が開催されます。清涼殿口ビエにて乞巧奠を再現します。芸芸上達を願う乞巧奠は、古く平安の世より宮中を中心に行われてきた行事です。また、神門前には梶の葉や五色の布を付けた平成の七夕大宮八幡乞巧潜りが設けられます。



「乞巧守」を奉製

大宮八幡乞巧守りを、7月1日(文月朔旦祭)より25日の大宮天神こどもまつりまでの期間限定で授与します。笹竹に紅白の七夕人形が付けられ、学業や芸芸の上達を祈願します。



大宮八幡祭り(秋の大祭) 祭典日程のお知らせ

本年度の大宮八幡祭り(秋の大祭)は左記の日程により斎行されます。
*例祭は9月15日(火)に斎行する
*神輿神霊入れ祭・若宮八幡神社並白幡宮例祭は9月18日(金)に斎行する
*宵宮祭は9月19日(土)に斎行する
*氏子奉幣祭・神輿合同宮入りは9月20日(日)に斎行する
*神輿神霊返し祭は9月21日(祝)に斎行する

納涼 大宮天神こどもまつり

7月24日と25日の両日にわたり、夏の風物詩第20回「納涼大宮天神こどもまつり」が行われます。24日は午後5時より大宮幼稚園園児、近隣の小中学生、崇敬者の方々からご奉納いただいた多数の書画行燈に灯が入り、幻想的な雰囲気の中、宵宮祭を斎行いたします。翌25日は午後5時より大宮天神祭。祭典の後は、「こどもあかり神輿」二基が元氣よく境内を廻ります。午後6時半より第20回「杜のひびきinおおみや」(時間をはずした日の祭事)として勇壮な和太鼓の奉納演奏。また、神門前では、「子供のミニ花火の集い」が催され、大勢の子供たちが賑わいます。氏子青年会による模擬店も出店されます。



塩浦結月	松田結彩	高塩奏乃	奥田修司	石田暖周	坂本真生	白鳥楓実	溝江衣吹
坂田哲市	青木俐翔	森重泰太	田中草丞	阿部結愛奈	竹内希環	金子御衣	福岡将己
藤原詩乃	谷口星光	谷口悠悠	横田英一	島田藍理	弓長依愛	鮫島悠希	坂崎このか
佐藤真真	有平拓未	菊地涼真	中島壮一朗	日形并絃未	吉村咲南	西本美琴	倉右春太
國井叶羽	佐藤快成	小野風	三留優都	伊達結政	佐藤幸律	梅原紬	澤島圭翔
坂本菜	池田晴文	岩永瑠碧	遠藤圭介	初田庵	矢吹心	住吉利奈	萩間結月
村本瑛菜	福留伍	清水颯真	津田朔	中川一	杉本一樹	加藤有花梨	伊藤美友里
松本橙空	浅野和志	佐野亜莉紗	平松零枝	田中伊織	新井大葵	加藤百桃果	北原未都
小泉西里桜	田中大揮	稲岡凛	永川睦基	岩月峻	信未亜希	高橋果希	寺坂陽
三原光利	渡邊修也	甲斐千和子	櫻井禪惶	小瀧珠	赤井美湖	大井上天陽	日置快志
菊地咲帆	松本美子	中島谷碧夏	横塚楓菜	武藤永莉	西岡奈穂	安高琥太郎	菊池柚衣
松本光奏咲	清水涼平	高田凌功	細野陽太	山田湊介	井上匠	鈴木惟生	細山田菜南
安藤優	増田真優	奥土葵翔	横田果歩	稲葉律斗	伊藤諒祐	松田紗優美	辻瑞季
並木咲佳	常見嘉人	飯沼大地	川口果音	西村茶保	薬師寺祥太	濱田依佳	岡崎奏翔
川崎心陽	足立怜	坂口絢音	大野瑞晃	野口紗瑛	伊藤諒祐	松田唯生	岡崎奏翔
岡井暁士	羽生陽茉莉	光井久茉莉	渡辺慧柊	野口紗瑛	薬師寺祥太	濱田依佳	岡崎奏翔
重田旺助	藤羅二郎	神原沙那	廣瀬央侑	西村英大	飯野芽生	谷川琴都	志波福斗
口脇壮真	大瀧柚希	山下純令	廣瀬央侑	岡田中成	加藤瑞子	矢寺琉樹	矢寺巧樹
安達絆結	佐藤美愛	小山睦葵	黒木柚帆	田中隼成	加藤瑞子	矢寺琉樹	矢寺巧樹
山下柚	宗像淳	三澤羽桜	菅野楓真	石川陽菜	鶴川葵大	矢寺巧樹	高木千碧
菅原将玄	中村優星	長野詩	嶺倉暖和	宮里優	松崎廣	狩俣志季	小林英玄
今井柁乃	小屋敷亜虹	岡谷杏樹	光武里莉	岡田英大	飯野芽生	谷川琴都	志波福斗
松井契馬	小林実生歩	神尾樹里	伊藤楓純	岡田英大	飯野芽生	谷川琴都	志波福斗
松下花	清原真玲花	野田芽依子	山口奈乃羽	宮里優	松崎廣	狩俣志季	小林英玄
増村燦	瀧田風	堀家恵美	田村優佳	岡田英大	飯野芽生	谷川琴都	志波福斗
加藤佐和	徳山詩希	高橋琴葉	唐木琉成	岡田英大	飯野芽生	谷川琴都	志波福斗
薬師寺咲菜	小島晴斗	畑中知	石津真翔	田中隼成	加藤瑞子	矢寺琉樹	矢寺巧樹
春日琴葉	森田羽紀	渋谷柚月	三浦光織	石川陽菜	鶴川葵大	矢寺巧樹	高木千碧
佐藤秀	山中智成	渡邊恵麻	雨宮幹	水口琥太郎	阿部広河	宮原希香	野川留里子
虎渡優樹	片海孝亮	内田小陽	渡邊菜	瀧口円	田口快	宮原希香	野川留里子
中谷創子	大曾根羽琉	二口大央	上原直樹	塚本穂太郎	都丸翠月	川端唯良	櫻井結彩
播磨悟	西山葵比古	松尾涼平	鈴木英悟	益川海琴	鈴木まこと	佐藤斗哉	吉越琉
野崎百花	小池杏奈	畑花音	平尾紗英	鈴木まこと	佐藤斗哉	吉越琉	吉越琉
高田達央	黒沢深月	藤井玲亜	米原鈴乃	熊谷碧月	伊藤匠海	本橋佑菜	水野花奏
織本悠生	足立千依	長井結禾	豊田美幸	阿久澤日和	齋藤宇多	佐藤成	藤代結衣
澤田樹	船戸晴太	小原咲良	阿久澤日和	浦山佳也	結城貴陽	芳本七海	平野心美
坂根玄進	太田颯介	星凛香	齋藤宇多	浦山佳也	結城貴陽	芳本七海	平野心美
坪井柚樹	太田汐莉	根木悠成	藤代結衣	御幸卯衣	高水新菜	宮宇地玲花	細貝研仁
吉田智香	柄澤涼	岩尾虹太郎	齋藤優真	高真由香	濱中輝星	新井斗真	川本紗矢
加古川朋佳	勇英志	齊藤優真	加納杜紘	新井斗真	川本紗矢	日高櫻人	西條紬
近藤瑞樹	星野友花	都竹小雪	阿佐希々花	千野結月	福田晃士	森野結月	本間智景
藤縄奏宇	岡本柳沙	山下某柳人	西條紬	福田晃士	森野結月	本間智景	中里飛陽
加茂琴乃	山下某柳人	西條紬	福田晃士	森野結月	本間智景	中里飛陽	中田謠
宮川蒼	小出心遙	波田慶次	福田晃士	森野結月	本間智景	中里飛陽	中田謠

下島綾士	陳易塵	相原謙太	高藤詩恩	森野結月	森元嶺	本間智景	中里飛陽
澤田理巧	苺野俱也	高倉湊佑	小石睦園	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
志賀奎太	小野蒼翔	吉川伶	松本悠太	坂口統真	高田葵子	六瀬都斗	角張真侑
川端駿介	吉川伶	松本悠太	石原ちゆき	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
小山凛	武士保仁	高橋蒼生	山口もも香	大佐古咲莉	勅使河原堅人	坪沼律	石ノリノ諭
黒岩架乃	館希	高橋蒼生	荒井瑛斗	石原ちゆき	山口もも香	大越香里	洲桃律玖
鈴木里穂	田中玲乃	玉田英太	折原瑛来	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
山村悠真	小山結生	加藤建伸	大隈玲奈	森元嶺	本間智景	中里飛陽	中田謠
東野唯花	金元碧泉	加藤亮成	岡村恭秀	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
今村航志	宮坂泰輔	佐藤亮斗	深井悠暉	坂口統真	高田葵子	六瀬都斗	角張真侑
明石丈太郎	水澤香莉	飯澤咲茉	新谷光希	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
丸尾光	児玉丈尊	中村一輝	武井悠真	大佐古咲莉	勅使河原堅人	坪沼律	石ノリノ諭
天野蒼唯	佐藤航大	犬塚友翔	大竹咲希	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
大熊泉輝	藤岡凛	田坂優季	中川紗都子	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
柴田悠叶	林湊人	加茂麗	岸野るな	森元嶺	本間智景	中里飛陽	中田謠
中河奏仁	加瀬碧	笹井京	池田彩那	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
小菅元	清水志織里	中村橙	田田禮	坂口統真	高田葵子	六瀬都斗	角張真侑
元島風	城戸紺	松本一綴	鴻上心那	大佐古咲莉	勅使河原堅人	坪沼律	石ノリノ諭
谷和芽	中谷寧々	植松季志	鴻上心那	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
佐藤美夏	榎葉晶紀	牧原にこ	高橋唯	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
伊東来那	木村海斗	西岡璃乃	高橋唯	大佐古咲莉	勅使河原堅人	坪沼律	石ノリノ諭
阿部怜	前久保結仁	福島唯織	高田凌功	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
西山みつな	飛山麻里子	門田華実	小谷津美実	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
小山田蒼	宮田真	佐藤優	高田凌功	大佐古咲莉	勅使河原堅人	坪沼律	石ノリノ諭
齋藤系	南湊二郎	堀井菜那	須藤麻	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
田中蒼馬	隈部壽真	堀口武琉	大宮百華	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖
渡邊佑香	大石岬	堀口結衣	飯塚一惺	大佐古咲莉	勅使河原堅人	坪沼律	石ノリノ諭
鳴原丹城	山崎湊翔	板寺珠羽	飯塚一惺	大崎理央	寺尾洗希	大塚日菜子	星川紡玖
新谷結玄	西井七海	滝澤璃愛	小宮谷志穂	梅影奏汰	浅井啓太	大越香里	洲桃律玖

初宮詣芳名(略)

(令和元年11月21日(令和2年3月20日))

お子様のお健やかな成長をお祈り致します

とんぐり通信

おおむせよろらん

令和元年度を終えて

副園長 草村敏子

平成31年度が始まると共に、新元号「令和」が発表され、5月より令和元年度が始まりました。さらに、幼児教育・保育の無償化が10月から開始されました。12月には創立70周年の園遊会が開催されました。今振り返ってみても、こんなに多くの節目を迎えた年はなかったと思います。そして年が明けた2月下旬のころよりコロナウイルス感染拡大防止のための対策が講じられ、当園も3月に入ってから臨時休園を二週間、その後様子を見ながらの自由登園を二週間、最後の週は3月16日に年中と年少は修了式、18日に年長は第70回卒園式を挙行致しました。しかしながら例年通りの卒園式開催は難しく、感染防止の対策を考えて、ご神殿での儀式・行事は扉や窓を開放して行いました。内容も縮小して、卒園奉告祭に引き続きご神殿で卒園式を執り行い、国歌斉唱・神前拝詞・園歌斉唱・保育証書授与は代表園児が受け取りました。園長挨拶・感謝贈呈・父母の会長挨拶・お別れの言葉は卒園児一同が述べ、最後に「きみとぼくのララ」を合唱しました。参列している保護者の中にはお別れの言葉や合唱の歌声に目を潤ませて聞いて下さった方もいました。そして、神前に一礼をしたのちに御神殿を退出して園に戻りました。園庭には今まで見たことのない赤い長い絨毯がクラスごとに敷き詰められて第二のセシモニーが始まりました。担任の先生から名前を呼ばれた順にお母様と手をつないでその赤い絨毯を踏みしめながら、先で待っている先生の所に進み出て保育証書を頂きました。この間待っている子どもたちや保護者の方から拍手を頂き嬉しさと照れくささが一緒にあった表情が見ている私どもにも伝わり、例年通りにはできなかったことは残念に思われる一方で、今年はこの形式でよかったと実感しました。さらに今回恵まれたことは穏やかな良い天気や青い空の下で練り広げられたことでした。子どもたちの心の中で「卒園証書授与式」はいつまでも光り輝いていると思えました。こうしてコロナウイルス感染拡大防止対策をやむなく中止した行事や父母の会の皆様が早くから企画して下さっていた様々な謝恩会行事が取りやめになったことは大変残念でしたが、そのご苦労に感謝して令和元年度が終了しました。



謝状贈呈・父母の会長挨拶・お別れの言葉は卒園児一同が述べ、最後に「きみとぼくのララ」を合唱しました。参列している保護者の中にはお別れの言葉や合唱の歌声に目を潤ませて聞いて下さった方もいました。

十三参り祈願のご案内

古来より数えて13歳になった少年少女が盛装して氏神様に参拝し、お祓いを受ける行事です。

13歳という年齢は自分の生まれた「えと(十二支)」が丁度一巡りして元の「えと(十二支)」に戻る年であることから、これまで健やかに成長できたことへ感謝するとともに、これから知徳・福德・美声等を授かるためにご祈願致します。

関西地方(特に京都)では七五三と共に大切な人生儀礼となっています。

小林慧	望月智悠	富晴仁	塚田紗世
高橋智	関根悠汰郎	中島樹	小田千紘
高岸柚花	大塚通斗	相沢太樹	高橋咲久良
戸塚蒼葉	吉田陽咲	柴崎英士	菜畑咲菜
南林奏輝	武田陽翔	浅野真穂	谷垣文哉
沼田通	鈴木菜々乃	細野英菜	上倉紬
波木井陽南	長嶋央介	石川奏緒	大石楠
山本悠生	米田真優	石川奏緒	山内柊菜乃
宮崎愛菜	栗山愛菜	伊藤アイジ	小輪瀬木花
三宅椿	中村壮希	濱崎	島田瑠美
鈴木源平	後根智恵	江原魁琉	佐藤梨紗
駒原拓海	山根麻綾	土井和郁奈	村松朱里
堀越蒼以	内山律	日下部真子	杉本碧
齋藤陽斗	仁科悠成	安藤百花	下別府流星
青沼かのん	八木悠貴	小泉純妃	実島椿
岩崎みう	大日野永来	石口廉	山岡風
沼上蒼空	人見史	佐藤優衣	園田悠也
程島蓮	加賀真羽	鳴海陽	北村柚衣
加藤日向葵	高野快	安村權	丹羽結仁
高梨仁都	高野快	内田絢子	佐藤系織
川嶋尋斗	森川光梨	松岡泰寿	中村颯人
作野雅来	東明松	榎永千蒼	川下權令
志賀悠	平手希空	渡辺真乃葉	増田柚希
熊倉悠翔	永富結蒼	潮川めい	齋藤彩羽
鈴木千世	宇佐美瑠生	辻律飛	甘中袖稀
拾井杏葉	丹野ひおり	永安悠陽	外園瑛信
五十嵐七澄	水野想太	元木礼	岸田大知
笈川兼太郎	峯田晃輔	永安悠陽	

祝七五三詣

七五三衣裳展示会7月4日より

毎日朝10時~夕方5時まで開催

七五三年齢表

七歳 女児	平成 26 年生
五歳 男児	平成 28 年生
三歳 男・女児	平成 30 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。満年齢でお受け頂いても差し支えございません。

緑豊かな都心の杜。感動の瞬間

初宮詣 衣装・美容着付・写真・初宮饗膳(ご会食)など承ります。

清涼殿 03(3312)7515

結婚式挙式者芳名(敬称略)

令和2年1月1日~3月31日

杉森雄輔・容子 秦慎一郎・薫衣



わかば祭り(春の大祭) 5月3日~5日



昭和祭
〔4月29日〕



弓道場振武殿神殿祭
〔4月29日〕

わかば祭り 第一日ノ儀〔3日〕



わかば祭り 第二日ノ儀〔4日〕

大宮八幡宮 植樹祭(献木式) (みどりの会主催)



わかば祭り 当日祭(尚武祭)〔5日〕



奉茶の儀



祝詞奏上



玉串拝礼

大 宮 第117号
令和2年 春の大祭号

令和2年5月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話 (3311)0105

FAX (3318)6100

Mail:

info@ohmiya-hachimangu.or.jp



大宮幼稚園 第70回卒園式